

報道関係者各位

プレスリリース

2016年8月19日

株式会社 神戸デジタル・ラボ
PFUビジネスフォアランナー株式会社
長野県白馬村観光局

長野県白馬村で人工知能にとスマートフォンアプリによる「観光客の動線分析」の実証実験を開始 —観光客が立ち寄る地点を予測、インバウンド市場の開拓も—

株式会社神戸デジタル・ラボ(本社:兵庫県神戸市中央区、代表取締役:永吉一郎、以下KDL)とPFUビジネスフォアランナー株式会社(石川本社:石川県かほく市、代表取締役:神丸研一、以下PFUビジネスフォアランナー)と長野県白馬村観光局は、KDLが開発している人工知能(※1)と、PFUビジネスフォアランナーが提供するスマートフォン向けの写真アルバムアプリ「Coislu」を用いて、8月19日より10月末日までの期間限定で、人工知能を用いて観光客が訪れた地点の情報分析により地域活性を支援する「観光客の位置情報に基づく導線予測分析の活用」の実証実験を開始します。

実証実験では、スマートフォンアプリを用いた観光客の位置情報(※2)を元に、人工知能による予測分析エンジンを用いて観光客のニーズをヒートマップ分析するとともに、観光客が求めるコンテンツを予測して、観光施策の改善や検討を支援できることを検証します。

■背景

全地球測位システム(GPS)が搭載されたデバイスの発展により膨大な位置情報が蓄積されています。しかし、現在地の発信や、写真への位置情報の記録、移動ルートの案内など、主にデバイスのユーザ側に提供されるサービスで活用されるに留まり、多角的なサービスには発展していないのが現状です。この課題を解決するため、KDLでは京都大学らとともに、センサにより集約されている膨大なデータをより簡単に余すことなく活用するための技術開発に、早くから取り組んで参りました。

一方、観光マーケティングにおいては、顧客の開拓と消費促進のための施策が必要ですが、マーケティングの検討に必要となるデータが地域に集積されていないのが現状です。これに対し KDL では、アプリなどで手軽に収集できるようになった「位置情報」を活用し、「ユーザが訪れた場所側での活用」という視点に着目して観光マーケティングを支援するためのサービスを開発しました。本サービスは、位置情報から観光客のニーズを分析・予測する人工知能を用いて、観光マーケティングの意思決定を促進し、成功確率向上を支援するものです。

また、PFU ビジネスフォアランナーでは、スマートフォンで撮影した写真を手軽にご家族や友達と共有してアルバム作成ができるアプリ「Coislu(コイスル)」を提供して、観光客の“思い出づくり”をサポートしています(<https://coislu.jp/>)。さらに、この写真に紐づく位置情報をマーケティングデータとして活用するサービス展開を目指しています。

日本有数の観光地である長野県白馬村では、観光地域の整備による観光振興に取り組んでおり、スキーや登山等で訪れる観光客の満足度向上と、拡大する訪日外国人観光客の来訪促進等に注力していることから、今回の実証実験に連携して取り組むこととなりました。

■実証実験の内容

実証実験では、期間中に白馬村を訪れた観光客に PFU ビジネスフォアランナーが提供するスマートフォン向けの写真アルバムアプリ「Coislu」を利用いただき、KDL がその写真に付与される位置情報を人工知能で分析します。また、白馬商工会の協力のもとに収集した観光施設等のコンテンツを利用して、地点に応じて観光客に提示すべきとするコンテンツ(施設やイベントなど)を分析して抽出します。

報道関係者各位

プレスリリース

白馬村観光局ではこの分析結果を用いて観光客へのコンテンツの配信や観光資源の整備を行い、より良い観光サービスの提供や外国人観光客の誘致に向けた施策を検討します。

この予測分析エンジンの特徴は、今その地点にいるユーザが次に訪れる地点までの導線を予測し、「立ち寄り」のニーズを拾ってくるという点です。その時間その場所にいるからこそ実現できる、最適な体験を提案することで、観光客の満足度向上につなげることが可能です。予測分析エンジンでは、以下の3つの機能を提供します。

・動線ヒートマップ分析

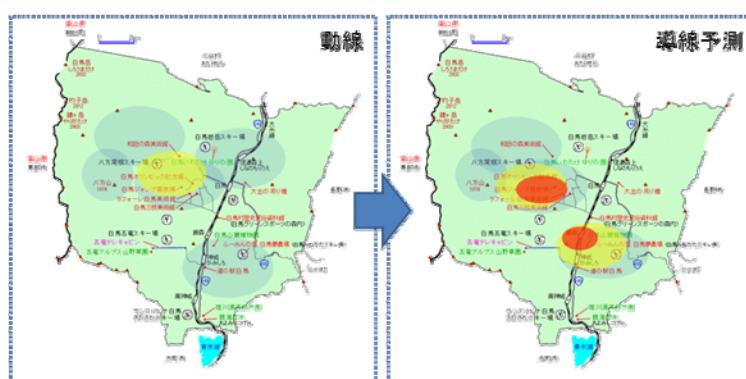
ユーザの動向を位置情報の日付、時間、緯度経度、またこれから想定される滞在時間など多様な軸から分析します。

・導線予測ヒートマップ分析

ユーザの位置情報を元に、ユーザが求めている情報がある地域を人工知能によって分析し、必要な改善や地域施策の検討を支援します。

・コンテンツ予測レポート

予測されたユーザ導線から、その時にその場所でユーザに提示されるべきコンテンツを予測します。



予測分析により提供される結果のイメージ

■今後の展開

本実証実験の結果を元に、位置情報を活用した分析で地域活性化を支援するとともに、店舗のマーケティングや交通の需要予測など、様々な市場に広く展開する新たなサービスを目指していきます。

また、本検証で利用する予測分析エンジンにおいては、ユーザに本エンジンの出力結果を表示して、ニーズに応じたコンテンツを配信するサービスなども予定しています。

※1 人工知能…

神戸デジタル・ラボは、ある地点にいる人が、次にどこに移動するかを予測する人工知能を開発しています。

この人工知能は、京都大学 新熊亮一准教授が発案した「関係性技術」等の最先端の技術を用いています。なお、関係性技術は「モバイルソーシャライズシステムフォーラム」で産業化が進められています。

モバイルソーシャライズシステム公式 Web サイト:<http://mssf.jp/>

※2 位置情報…

ここで記載する「位置情報」とは、スマートフォンで撮影された写真に付与される位置情報です。今回の実証実験ではこの位置情報をユーザの動線を分析するために利用します。利用にあたっては個人が特定できない形式に変更します。

報道関係者各位

プレスリリース

【問い合わせ先】

株式会社 神戸デジタル・ラボ (<http://www.kdl.co.jp/>)

担当:取締役/先端技術開発事業部長 山口 和泰

所在地: (神戸本社) 〒650-0034 神戸市中央区京町 72 番地 新クレセントビル
(東京支社) 〒105-0011 東京都港区芝公園 2-3-27 芝公園 PR-EX ビル 5F

TEL: 078-335-5569

メール: mssf@kdl.co.jp

PFUビジネスフォアラン一株式会社 (<http://www.pfu.fujitsu.com/pfr/>)

担当:プロジェクト推進部 プロジェクト部長 吉尾 仁司

所在地: (横浜本社) 〒220-8567 神奈川県横浜市西区みなとみらい 4-4-5 (横浜アイマークプレイス)
(石川本社) 〒929-1192 石川県かほく市宇野気ヌ 98-2

TEL: 076-283-8709

メール: pfr@pfu.fujitsu.com

長野県白馬村観光局 (<http://www.vill.hakuba.nagano.jp/>)

担当:営業プロデューサー 伊達 仁彦

所在地: 〒399-9301 長野県北安曇郡白馬村北城 7025

TEL: 0261-72-7100

メール: date@po.vill.hakuba.nagano.jp